



DVI Detective Plus

EDID信号保持機

型番: EXT-DVI-EDIDP

取扱説明書



安全上の注意

この度はGefen製品をお買いあげいただきましてありがとうございました。機器のセッティングを行う前に、この取扱説明書を十分にお読みください。この説明書には製品扱い上の注意や、購入された製品を最適にお使いいただくための手順が盛り込まれています。将来にわたるご使用のためにも、製品の梱包箱と取扱説明書は保存していただくことを強くお奨めいたします。

●注意事項は危険や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。



警告

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず製品付属のACアダプターを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり大変危険です。
- AC100V、50Hz/60Hzの電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグには触れないでください。感電する恐れがあります。
- 煙が出る、異臭がする、水や異物が入った、本体や電源ケーブル・プラグが破損した等の異常があるときは、ただちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。



注意

この表示内容を見逃して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

- 万一、落したり破損が生じた場合は、そのまま使用せずに修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。
- 以下のような場所には設置しないでください。
直射日光の当たる場所/極度の低温または高温の場所/湿気の多い場所/ほこりの多い場所/
振動の多い場所/風通しの悪い場所
- 配線は電源を切ってから行ってください。電源を入れたまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 廃棄は専門業者に依頼してください。燃やすと化学物質などで健康を損ねたり火災などの原因となります。

目次

はじめに	3
各部名称	4
DVI Detective Plusの接続と操作方法	5
プリプログラムEDIDを使用する	7
プリプログラムEDID設定一覧	8
DVI Detective Plusの設定を保護する	9
DVI Detective Plus仕様	10



はじめに

EDIDは、ディスプレイが対応可能な表示解像度や周波数を伝えるためのものですが、時としてPCやHDビデオ機器がその情報を失ってしまうことがあります。ディスプレイの電源を再投入したり一旦外した接続を戻したりするとEDID情報は失われてしまい、PCやHDビデオ機器の映像は適切に表示がされなくなってしまうます。

DVI Detective Plusの機能

あらかじめ使用するディスプレイの設定に合わせてDVI Detective Plusをプログラムしておくことで、ビデオソースを接続するとすぐに適切な状態で表示させることができます。

DVI Detective Plusをディスプレイと電源に接続したら後述の手順でプログラムします。プログラムが完了したら、ビデオソースの映像出力コネクタと接続してソースの機器を再起動します。

EDIDをプログラムする操作はケース外側にあるスイッチで行うことができます。

機能

- ディスプレイのEDIDを記憶します。
- 1920×1200、2K、3840×2400(デュアルリンク)までの解像度に対応します。
- 有効にされているPCのDVIポートを無効にする作業が不要となります。
- PCの映像信号を延長する際にDDC信号用に使用されるCAT-5ケーブルを不要にできます。
- フルハイビジョンのHDCP*コピープロテクトの受け渡しが可能です。(別売のHDMI-DVIコンバーターが必要)
- 初期設定のプログラムが済んだ後は電源の接続は不要です。

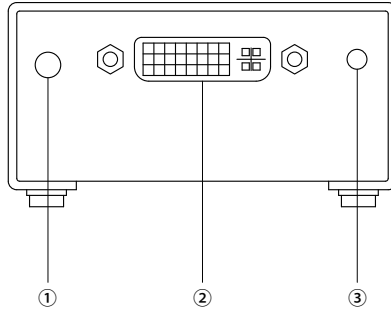
* HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection): DVIやHDMIを経由して送受信されるHDTV信号を暗号化し、違法なコピーが作成されることを防止する著作権保護技術。

同梱品

DVI Detective Plus本体	1
DVIケーブル (オス-オス、約25cm)	1
専用ACアダプター (AC100V 50/60Hz、DC5V出力)	1
取扱説明書	1

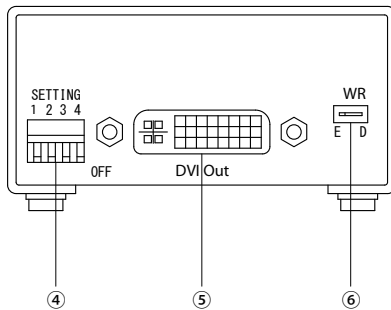
各部名称

前面パネル



- ① **Prog.スイッチ** EDIDをプログラムします。→P5
- ② **DVI Inコネクタ** 映像ソース機器の出力ケーブルを接続します。
- ③ **Power LED** DVI Detectve Plusの作動状態を表示します。→P5、P9

背面パネル



- ④ **SETTING DIPスイッチ** プリプログラムEDIDを選択します。→P7
HDCP信号の出力設定を選択します。→P8
- ⑤ **DVI Outコネクタ** ディスプレイの入力ケーブルを接続します。
- ⑥ **WRスイッチ** 設定された状態を誤って書き変えないように保護します→P10
<E> 書き込み有効
<D> 書き込み無効



DVI Detective Plusの接続と操作方法

1. まず、DVI Detective Plusの背面にあるライトプロテクト用の**WR**スイッチが<E>の書き込み有効の位置になっていることを確認し、そして**SETTING** DIPスイッチをすべて<**OFF**>にします。
2. ディスプレイの電源は切った状態でディスプレイとの接続ケーブルをDVI Detective Plusの**DVI Out**コネクタに接続します。接続したらディスプレイの電源を入れます。
3. DVI Detective Plusに付属のACアダプターを接続し、ACアダプターをコンセントに差します。DVI Detective Plusの**Power** LEDが点灯します。赤色に点灯しているときはEDIDにプログラムが行われていない状態です。緑色に点灯している時はEDIDのプログラムが完了している状態です。
4. プログラムを開始するには、まずDVI Detective Plus前面にある**Prog.**スイッチを、**Power** LEDが緑色で点滅し始めるまで押し続けます。DVI Detective Plusへの記録が完了すると緑色のLEDが点滅が止まります。DVI Detective Plusが正常にプログラムを完了すると緑色、完了できなかった場合には赤色に点灯します。

注意:

DVI Detective Plusの記録が開始されずにPower LEDが緑色の点滅のままの場合には、一旦ディスプレイとの接続ケーブルとユニットのACアダプターを外し、再度上記の手順の2と3を行います。

Power LEDが赤色に点灯したときは、ディスプレイからのEDIDが記録に適さない状態です。7ページの「プリプログラムEDIDを使用する」を参照して、プリプログラムされたEDIDの中から最適のものを選択してください。

-
5. EDIDの記録が正常に完了したら、ACアダプターをDVI Detective Plusから外します。誤って記録された設定を上書きしてしまわないよう、**WR**スイッチは<D>の位置にしておくことをおすすめします。

注意：

ビデオソースがHDCPを使用している場合には、HDCPに対応したディスプレイを使用しなければなりません。さらにSETTING DIPスイッチの<4>をオン(上側)にして、映像ソース機器とディスプレイでHDCPの受け渡しができるように設定します。映像ソース機器やディスプレイのHDCPへの対応状況については、各機器に付属の取扱説明書等をご覧ください。

7. DVI Detective Plusと映像ソース機器を接続する前に、ソースの機器の電源はオフにします。
8. DVI Detective Plusの**DVI In**コネクタに映像ソース機器の出力ケーブルを接続し、ソースの機器の電源を入れます。

注意：

映像ソースにPCを使用する場合には、すべての接続が完了したらPCを再起動します。

プリプログラムEDIDを使用する

DVI Detective Plusには、5つのプリプログラムされたEDIDが用意されており、手動で選択することができます。標準的なホームシアター用のマルチチャンネルオーディオとハイビジョンテレビの解像度の組み合わせの中から選ぶことができます。プリプログラムEDIDを使用すれば、機器の状態が不確定であったり、信号やコントロールに正しく反応しないような場合でも、接続されたソース機器を指定の解像度やオーディオの設定に固定させることが可能となります。8ページの表は、5種類のプリプログラムEDIDの解像度、リフレッシュレート、オーディオチャンネルの設定と**SETTING** DIPスイッチの設定状態の関係を表したものです。スイッチの**4番**は別機能(HDCPの設定)に使用されており、プリプログラムの選択には使用しません。

設定手順

1. ディスプレイに最適な設定となるプリプログラムEDIDの番号を8ページの表から探し、その番号のスイッチ設定どおりにユニットの**SETTING** DIPスイッチをセットします。
2. 5ページの「DVI Detective Plusの接続と操作方法」の手順3から8を行います。

注意:

SETTING DIPスイッチは、DVI Detective PlusをプリプログラムEDIDを使って設定する場合にのみ表にある状態にセットします。接続したディスプレイから自動的にEDIDデータを取得してDVI Detective Plusに記録する場合には、スイッチはすべて<OFF>(下側)にします。



プリプログラムEDIDの選択には**SETTING** DIPスイッチの1~3番を使用します。スイッチの上側の位置がON、下側がOFFです。

プリプログラムEDID設定一覧

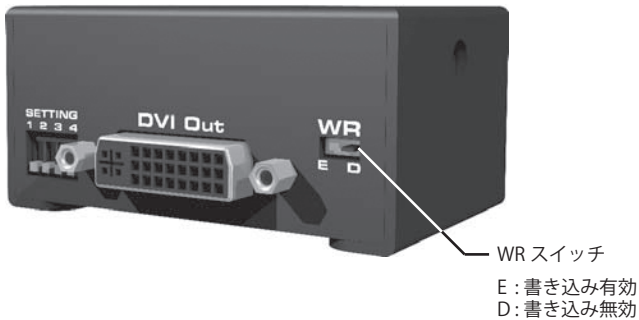
EDID	Resolutions	Refresh Rate	Audio	DIP Switches		
				1	2	3
1	720 x 576p 4:3 720 x 576p 16:9 1280 x 720p 16:9 1920 x 1080p 16:9 *1920 x 1080i 16:9	50 Hz	8 CH PCM	ON	OFF	OFF
2	720 x 576p 4:3 1440 x 480i 16:9 1280 x 720p 16:9 1920 x 1080p 16:9 *1920 x 1080i 16:9	59.94 / 60 Hz	8 CH PCM	OFF	ON	OFF
3	720 x 576p 4:3 720 x 576p 16:9 1280 x 720p 16:9 1920 x 1080p 16:9 *1920 x 1080i 16:9	50 Hz	2 CH PCM	ON	ON	OFF
4	720 x 480 16:9 720 x 576p 16:9 1280 x 720p 16:9 1920 x 1080p 16:9 *1920 x 1080i 16:9	59.94 / 60 Hz	2 CH PCM	OFF	OFF	ON
5	720 x 480p 4:3 1440 x 480p 4:3 720 x 480p 16:9 1440 x 480p 16:9 1280 x 720p 16:9 1920 x 1080i 16:9 *1920 x 1080p 16:9	59.94 / 60 Hz	2 CH PCM 8 CH PCM DTS® Dolby®	ON	OFF	ON

* **SETTING** DIPスイッチの4番は別用途に使用されており、プリプログラムEDIDの選択には使用しません。

DVI Detective Plusの設定を保護する

DVI Detective Plusの設定が完了し動作が確認できたら、DVI Detective Plusを誤って別の設定にしてしまうことがないようにプロテクトをかけておくことができます。これはWRスイッチを<D>の書き込み無効(disable)の位置にするだけで完了します。工場出荷時は、このスイッチは<E>の書き込み有効(enable)の位置になっていて、ただちにプログラムを行えるようになっています。DVI Detective Plusのプログラムを行うときには、このスイッチは<E>の位置になっていなければなりません。<D>になっているとき操作はすべて無効となります。

プロテクトされているとき、ACアダプターを接続するとPower LEDは赤と緑で交互に点灯します。



DVI Detective Plus仕様

ビデオアンプ帯域幅	165MHz
入力映像信号	1.2V p-p
入力DDC信号	5V p-p (TTL)
最大サポート範囲	1920×1200(シングルリンク)、3840×2400(デュアルリンク)
DVI入出力コネクタ	DVI-I 29ピン、メス
電源	5V DC (専用ACアダプター、AC100V 50/60Hz)
消費電力	5W (最大)
寸法	W69×H33×D46mm、(突起部含まず)
質量	約86g

HIBINO

ヒビノインターサウンド株式会社

〒108-0075 東京都港区港南3-5-12 TEL: 03-5783-3880 FAX: 03-5783-3881

E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <http://www.hibino-intersound.co.jp/>